

未来へつなぐ

ながのSDGs

info rmation

vol. 6

おいしいながの
ガイドブックスタンプラリー

長野市・須坂市・飯綱町・信濃町



地産地消がテーマのスタンプラリーで地域の経済を元気に

おいしいながのガイドブック2025スタンプラリー

近くで採れたものは新鮮でおいしいし、つくり手の顔が見えるほうが安心。そして、運ぶ距離も短いので地球にもやさしい。そんな、メリットたくさんの「地産地消」を、たくさんの人に広げていくスタンプラリー（10/13～12/31）が長野市・須坂市・飯綱町・信濃町の4市町で行われました。

長野市地産地消推進協議会が発行する「おいしいながのガイドブック」は、地産地消に取り組む4市町の店舗を紹介。掲載されているスタンプラリー参加店2カ所でスタンプをもらって応募すると抽選で地元の素敵な産品がもらえるスタンプラリーが楽しめます。また、クーポンもついていて、掲載店の中でもクーポン対応店に持参するとお得なサービスが受けられます。

2014（平成26）年のスタート時に15だったスタンプラリー参加店数は2025年には61まで増加。扱ひ品や業種は多種多様ですが、共通しているのは「地産地消を広げたい」という想い。地元産の材料を積極的に使用している事業者がおいしいながのガイドブックに掲載されています。

スタンプラリーは2026年度も継続する予定。さらに参加しやすいデジタルスタンプの運用を検討しています。地産地消は、輸送時のエネルギーがかからず、二酸化炭素の排出が少なくなることから、環境にやさしく、SDGsの推進につながる取組だとされています。事務局担当の深澤果歩さんは「地産地消は生産者、消費者、流通に関わる人など、地域を丸ごと元気にできる。もっと多くの人を巻き込みたいです」と意気込みを見せます。



農と食をつなぎ、地域を根っこから元気に



おいしいながのスタンプラリーの担当者と、地産地消の取組を積極的に行っている株式会社西飯田酒造店の代表に、地産地消への想いを聞きました。



株式会社西飯田酒造店の代表取締役社長・杜氏
飯田一基 さん



長野市地産地消推進協議会事務局
深澤果歩 さん(長野市農業政策課)



西飯田酒造店からほど近い契約農家の農地で栽培されているぶどう。「原材料の仕入れ先が信頼できると、醸造側も安心できます」と話す

「地元で誇れるものがある」 と思ってもらいたい

うちの酒米は県産がほとんどです。味はもちろん、長野県産のお酒には長野県産の原材料が使われている方が喜ばれることも多いですからね。

ワインやシードルの主原料は近隣の農家さんからの仕入れと自社栽培で調達しています。地元のぶどうにもりんごにも注目してもらいたいですし、自社の商品が売れたら地元へ還元できるというのが理想です。2026年からブランド醸造を始めますが、この原材料も近隣のもの。風味づけに地元産の別の材料も加えられないか検討しています。

経済活性化のためには外から人を呼ぶことも大事ですが、そのためには地元で「誇れるものがある」ことが必要だと思っています。その中の一つにうちのお酒が入ればうれしいですね。

長野地域の盛り上がりや 魅力をダイレクトに

地産地消は、「農業」と「食」をつなぎ、地域を根っこから元気にする取組だと感じています。農家の方々が地元でつくった「農産物」を、地元の飲食店を通じて「食」として提供することで、両者をつなぎ、地域全体を盛り上げていく効果があります。

スタンプラリーは、実際にお店に足を運んでもらい、「食」を楽しんでもらえる取組ですので、長野地域の盛り上がりや魅力をダイレクトに伝えることができる機会になっています。「毎年楽しみにしています」という声や、「今年初めて参加してみました!」といった声が寄せられていて、広がりが見えるのはうれしい限り。より輪を広げるため、パワーアップした事業展開を考えているところです。



令和元年の台風で被災してから、地域復興の拠点としての役割を果たしてきた「炭火焼肉ジギスカンもんも」も、この取組に参加



長野市のみでスタートしたが、2025年には4市町に広がっている。写真はスタンプラリー参加店の一つで、信濃町の人気店「にのくらマルシェ」のとうもろこし

◆長野市地産地消推進協議会

消費者、生産者、事業者と長野市が協力して地産地消を推進するため平成16年に設立された。小中学校の栄養士を対象とした農地視察や、「地産地消協力店」の認定制度などを運営している。

住所 長野市鶴賀緑町1613番地



◆株式会社西飯田酒造店

江戸末期の創業。全国でも数少ない花酵母で醸す酒蔵。りんごやみわりなどさまざまな花酵母で造る日本酒「積善」をはじめ、ワインやシードルなども人気。原料の多くを地元・長野市の生産者から調達している。



住所 長野市篠ノ井小松原1726

～「ながの」の未来にむけて、今できること～

「ながのSDGs information」では、長野地域連携中枢都市圏9市町村(長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村・信濃町・小川村・飯綱町)にある企業や団体のSDGsに関する取組を紹介しています。圏域間のパートナーシップや取組を通して、持続可能なまちづくりを推進していきます。

他の詳細はこちら



*長野市は、「SDGs未来都市」に認定されています。
「環境共生都市「ながの」の実現」を目指して活動に取り組んでいます。
…「SDGs未来都市」とはSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市として、国(内閣府)が選定するものです。

詳細ページはこちら



〈発行〉 令和8年3月
長野地域連携中枢都市圏 事務局
(長野市役所 企画課)
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL:026-224-5010 FAX:026-224-5103